

2020年度

# さくらんぼ園だより



7・8月号

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」(TEL64-5798・FAX62-9171)

## ツバメの子育てを見て思う。

ツバメは人間にとって身近な生き物です。私の家の車庫でも、ツバメが子育てをしています。去年のツバメかどうかはわかりませんが、去年も使われていた巣を利用しています。フンを落とすので困りますが、毎年のことなので、そのままほうっています。ツバメが人家近くに巣を作るのは、悪天候のときも屋根があるから安全だし、自然の中より外敵からも安全だからです。私が車庫にいても、警戒しながら4羽のヒナにエサを運んできます。休むこともせず、往ったり来たりしています。その様子がおもしろいので、しばらく見ていました。ツバメは飛んでいる昆虫を空中で捕まえますが、近場でエサを捕まえた



ら、10秒もたたないうちに戻って来ます。姿が見えなくなるところまで飛んでいって、2分くらいしないと帰ってこないときもあり一度に4羽ともにエサは行き渡りません。次は誰に渡すのか、順番を覚えているのかなあと思ったり、誰も見ていないので、ときにはこっそり、自分は自分でしっかり食べているのだろうなあと思ったりしました。自分がツバメなら、そうしているだろうから。

毎朝7時頃にシャッターを開けます。同時にツバメは飛び出していきます。もっと早く開けてくれと思っているかも知れません。ツバメは薄暗くなるまで飛び回っているので、12時間以上はヒナのために働いていることになります。

ツバメの子育ては、子孫を残すことを目的とした行為で、本能から来るものです。しかし、ヒナにひっきりなしにエサをやる様子を見ていると、人間の親子の関係を重ねてしまいます。巣にエサを運ぶ親ツバメが帰ってきたとき、ヒナたちは自分に自分にと、パイパイ鳴き始めます。(待っているときは静かにしています。へびなどに気づかれたら大変ですから。)ヒナはエサを待っているのですが、ヒナにとって、親ツバメは唯一安心できる生き物でもあります。夜は巣の近くに止まって見守ってくれています。私が巣の近くにいたら、威嚇するように勢いよく向かって来こともあります。食べ物も含め、ヒナは親ツバメに安全を保ってもらっているのです。

ツバメのヒナと同じで、子どもにとって家(家庭)は、自立するまでの巣のようなもので、唯一安心できる場所です。安全(衣・食・住と心の安定)を見守ってくれる家族がいるからです。人間の子育ては、ツバメのようにストレートで、単純なものではありません。親も子どもも社会で生きていて、それぞれに変化する考えや感情をもっているからです。子どもであっても、親から独立した個であるからです。しかし、「子育て」という言葉があるように、子どもは親に見守られながら、また、必要なことを教わりながら育っていきます。親子の間には、親は子を大事に守ってあげたい、子は親に大事にしてほしいという、それぞれに本能的なものがあるように思えてなりません。なかなか親ツバメのようにはいきませんが、子どもと向き合ったよい関係が保っているか振り返ってみることも、ときには必要なことであると、ツバメの子育てを見ていて思いました。

「6月の終わり、4羽のヒナは、それぞれに無事に巣立っていきました。」と書いて締めるつもりでした。しかし、巣から出て1週間近くがたちますが、毎日うす暗くなる頃に車庫に戻ってきます。日中、飛ぶ練習をしているのでしょうか。まだ巣立っていません。

7月もよろしく願いいたします。

園長 小谷 和弥  
職員 一同



# 7月・8月 療育表



| 月                         | 火                  | 水                      | 木                                      | 金                                       |
|---------------------------|--------------------|------------------------|--|---|
|                           |                    | 1<br>午前療育<br>午後療育      | 2 <small>灘先生来園</small><br>午前療育<br>午後療育 | 3<br>午前療育<br>午後療育                       |
| 6<br>午前療育<br>午後療育         | 7<br>午前療育<br>午後療育  | 8<br>午前療育<br>午後療育      | 9<br>午前療育<br>午後療育                      | 10<br>午前療育<br>午後療育                      |
| 13<br>午前療育<br>午後療育        | 14<br>午前療育<br>午後療育 | 15<br>午前療育<br>午後療育     | 16<br>午前療育<br>午後療育                     | 17<br>午前療育<br>午後療育                      |
| 20<br>午前療育<br>午後療育        | 21<br>午前療育<br>午後療育 | 22<br>午前療育<br>午後療育     | 23 <small>海の日</small><br>              | 24 <small>スポーツの日</small>                |
| 27<br>午前療育<br>午後療育        | 28<br>午前療育<br>午後療育 | 29<br>午前療育<br>午後療育     | 30<br>午前療育<br>午後療育                     | 31<br>午前療育<br>午後療育                      |
| 8/3<br>午前療育<br>午後療育       | 4<br>午前療育<br>午後療育  | 5<br>午前療育<br>午後療育      | 6<br>午前療育<br>午後療育                      | 7<br>午前療育<br>午後療育                       |
| 10 <small>山の日</small><br> | 11<br>午前療育<br>午後療育 | 12 <small>お盆休み</small> | 13 <small>お盆休み</small>                 | 14 <small>お盆休み</small>                  |
| 17<br>午前療育<br>午後療育        | 18<br>午前療育<br>午後療育 | 19<br>午前療育<br>午後療育     | 20<br>午前療育<br>午後療育                     | 21 <small>灘先生来園</small><br>午前療育<br>午後療育 |
| 24<br>午前療育<br>午後療育        | 25<br>午前療育<br>午後療育 | 26<br>午前療育<br>午後療育     | 27<br>午前療育<br>午後療育                     | 28<br>午前療育<br>午後療育                      |
| 31<br>午前療育<br>午後療育        |                    |                        |  |   |

## 7月～8月の予定

\*灘先生来園日

7月2日(木)

8月21日(金)

9月28日(月)

\*お盆休み

8月12日～15日は

お盆休みになります。



## 灘先生の来園

毎月1回、作業療法士の灘裕介先生に  
来園していただいています。

年間、各曜日2回ずつ来園して  
いただき、直接子どもたちと関わ  
ってもらうことで、体のことだけ  
なく、遊び方の工夫や課題や活動の  
支援についても助言をもらい療育に  
活かせるよう努めています。

## 手遊び

道具を使わずどこでも楽しめる「手遊び」。さくらんぼ園では療育の中で、色々な手遊びを取り入れています。例えば「いっぽん橋こちょこちょ」という手遊びは、お父さんやお母さん、身近な人と直接触れ合うやり取りを通して、楽しい気持ちを共有でき、コミュニケーションを深めることができます。

手遊びは、言語の発達や集中力を高めるなどと言われてはいますが、時には気持ちや行動のコントロールの手助けになることもあります。模倣系の楽しい手遊びもたくさんあります。年齢や成長に伴い、好きな手遊びのレパートリーも増えていきます。また、お子さんに合わせてアレンジするのも楽しいですね。お子さんのお気に入りの手遊びを見つけ、一緒に楽しんでみませんか。